

CODE : 7771

**NI** NISSEY GROUP

2016年3月期 第2四半期 決算説明資料 2015年11月



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

# 会社概要 (2015年9月30日現在)

- ◆ 社 名 : 日本精密株式会社 (Nihon Seimitsu Co., Ltd.)
- ◆ 住 所 : 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル8
- ◆ 設 立 : 1978年8月
- ◆ 上 場 : 東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
- ◆ 代表取締役 : 岡林 博
- ◆ 事業内容 : 時計バンドの製造、販売, メガネフレームの製造、販売, イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
- ◆ 連結子会社 : 3社、関係会社1社
- ◆ 従業員 : 3,535人(連結)、74名(個別)
- ◆ 決 算 : 3月
- ◆ 資 本 金 : 1,820百万円
- ◆ 発行株式数 : 18,428,999株
- ◆ 株 主 数 : 1,758名





**1. 2016年3月期 第2四半期 業績概要**

**2. 2016年3月期 業績予想**

**3. 今後の戦略**

# 2016年3月期 2Q累計 連結業績

単位:百万円	2015/3期 2Q累計実績	2016/3期 2Q累計実績		
		実績	増減額	増減率
売上高	3,683	4,421	+737	+20.0%
売上総利益	900	1,088	+188	+20.1%
売上総利益率	24.4%	24.6%	+0.2p	—
販管費	840	935	+95	+11.4%
販管費比率	22.8%	21.2%	△1.6p	—
営業利益	60	152	+92	+153.3%
営業利益率	1.6%	3.5%	+1.8p	—
経常利益	96	101	+5	+5.8%
経常利益率	2.6%	2.3%	△0.3p	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	78	62	△16	△20.3%
四半期純利益率	2.1%	1.4%	△0.7p	—

# 報告セグメントの状況(連結)

## 報告セグメント別売上高

2Q累計	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
時計関連	1,819	1,660	2,147	2,552	3,370
メガネフレーム	929	835	1,034	940	869
その他	180	163	154	190	181
連結売上高	2,930	2,660	3,337	3,683	4,421

## 報告セグメント別利益

2Q累計	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
時計関連	138	14	74	124	261
メガネフレーム	12	△68	△74	△83	△131
その他	5	△2	△6	15	15
報告セグメント外	17	10	9	2	7
セグメント利益	181	△46	3	60	152



# 2016年3月期 第2Q累計 連結業績の概要①

## 【売上高】 受注好調に加え、円安効果もあり前年同期比で大幅増

### ◎時計関連

- ・高級品向け時計バンドの受注増加により、ベトナム工場の生産が大幅な増加となったことに加え、カンボジア新工場への生産移管が加速され、新たなサプライチェーンを構築が進んだことにより、時計部品全体の生産が大幅に増加。
- ・上記の増産による売上増に加えて、円安による海外売上高の増加要因もあり、前期比で大幅増収を達成。

### ◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)は、海外向け売上高は増加したものの、国内の特に中小型チェーン向けの売上高が減少したことにより、前年同期比で減少。
- ・本体(OEM製品部門)は、大型チェーン店向けは増加した一方、大手メーカー向けが減少し、前年同期比で減少。

## 【営業利益】 時計関連が牽引し、全体では前年同期比で大幅増

### ◎時計関連

- ・ベトナム工場については、円安ドン高の影響などによる人件費の増加があったものの、増収効果により前期比で増益。
- ・カンボジア工場の本格稼働と、それにより労働集約型製品をベトナム工場から生産移管したことにより、グループ全体での生産効率が向上し、前年同期比でセグメント利益は倍増。

### ◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)については、売上減少に加え、円安による仕入コストも影響。
- ・本体(OEM製品部門)は、上記の減収要因に加え、円安ドン高によるベトナム工場の人件費増などが影響。



## 2016年3月期 第2Q累計 連結業績の概要②

### 【 経常利益 】 為替差損が発生したものの、前年同期比で増益

- ・在外子会社の円建て債務及びドル建て債権等の為替評価損(22百万円)の計上等により営業外収支は悪化したものの、営業利益の大幅増により経常利益は前年同期比で増加。

※前年同期は、為替差益54百万円を計上

### 【 四半期純利益 】 法人税負担の増加などにより、前年同期比で減益

- ・大きな特別利益・特別損失の発生が無く税引前利益は前年同期と同水準であったものの、法人税負担の増加などにより、当期純利益は前年同期比で減少。

# B/S、CFの状況(連結)

単位:百万円	2015/3末	2015/9末
<b>流動資産</b>	<b>3,241</b>	<b>3,966</b>
現預金	741	1,220
受取手形・売掛金	980	1,011
たな卸資産	1,335	1,571
その他	183	163
<b>固定資産</b>	<b>2,194</b>	<b>2,409</b>
有形固定資産	1,546	1,746
無形固定資産	489	498
投資その他の資産	159	164
<b>繰延資産</b>	<b>56</b>	<b>50</b>
<b>総資産</b>	<b>5,493</b>	<b>6,426</b>
<b>流動負債</b>	<b>1,976</b>	<b>2,501</b>
支払手形・買掛金	693	882
短期・1年内長期借入金	972	1,344
その他	310	274
<b>固定負債</b>	<b>1,265</b>	<b>1,397</b>
長期借入金	1,140	1,267
その他	125	129
<b>純資産</b>	<b>2,251</b>	<b>2,526</b>
株主資本	2,224	2,497
その他の包括利益累計額	26	29
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,493</b>	<b>6,426</b>

単位:百万円	2015/3期 2Q累計	2016/3期 2Q累計
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>45</b>	<b>119</b>
税前当期純利益	96	101
減価償却費	76	105
売上債権の増減額	△31	△30
たな卸資産の増減額	△254	△236
仕入債務の増減額	176	188
その他	7	34
<b>小計</b>	<b>72</b>	<b>162</b>
利息及び配当金の受取・支払額	△20	△26
法人税等の支払額	△6	△16
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△195</b>	<b>△358</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△150</b>	<b>△238</b>
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>122</b>	<b>713</b>

## 資産の主な増加要因

- ・流動資産: たな卸資産 +236百万円  
時計関連の好調に伴う仕掛品・原材料の増加
- ・有形固定資産: 機械装置 +48百万円  
ベトナム工場・カンボジア工場の機械設備の導入
- ・建設仮勘定 +152百万円  
ベトナム工場第4工場の着工に伴う増加





1. 2016年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

# 2016年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2015/3期 実績	2016/3期 予想		
		予想	増減額	増減率
時計関連	5,437	6,523	+1,086	+20.0%
メガネフレーム	2,062	1,900	△162	△7.9%
その他	376	377	+1	+0.3%
<b>売上高</b>	<b>7,877</b>	<b>8,800</b>	<b>+1,122</b>	<b>+11.7%</b>
時計関連	188	501	+313	+166.5%
メガネフレーム	△131	△231	△100	—
その他	37	31	△6	△27.0%
報告セグメント外	0	—	—	—
<b>営業利益</b>	<b>95</b>	<b>301</b>	<b>+215</b>	<b>+215.4%</b>
<b>経常利益</b>	<b>221</b>	<b>253</b>	<b>+33</b>	<b>+14.8%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>187</b>	<b>223</b>	<b>+35</b>	<b>+19.1%</b>



## 2016年3月期 連結業績予想の概要

### 【売上高】 時計関連が牽引し、前期比で2ケタ増収を見込む。

#### ◎時計関連

- ・顧客の販売好調に伴い、新規及びリピートオーダーの受注の大幅増が下半期も続くことを見込む。  
また、カンボジア工場へ労働集約型製品の生産移管が進んだことにより、ベトナム工場は生産設備の増強も伴って高級品向け製品の増産が可能となったことから、時計関連全体では前期比で大幅増収を見込む。

#### ◎メガネフレーム

- ・(株)村井のブランド・フレーム部門は、新ブランドの増販や海外向け売上拡大を図るものの、中小型チェーン店向け売上が下半期も引き続き低調に推移することから、前期比で減収を見込む。
- ・本体のOEM製品部門は、国内メーカー向けの売上高が下半期も減少し、前期比で減少を見込む。

### 【営業利益】 増収効果により、カンボジア工場の立上げ費用等を吸収し、増益を見込む。

#### ◎時計関連

- ・ベトナム工場については、増設や高級品向け製品の製造に向けた設備拡張・金型生産能力増強による消却額の増加、カンボジア工場については、本格稼働による人件費・償却額の増加があるものの、それを大きく上回る増収効果により、セグメント利益は前期比で大幅増を見込む。

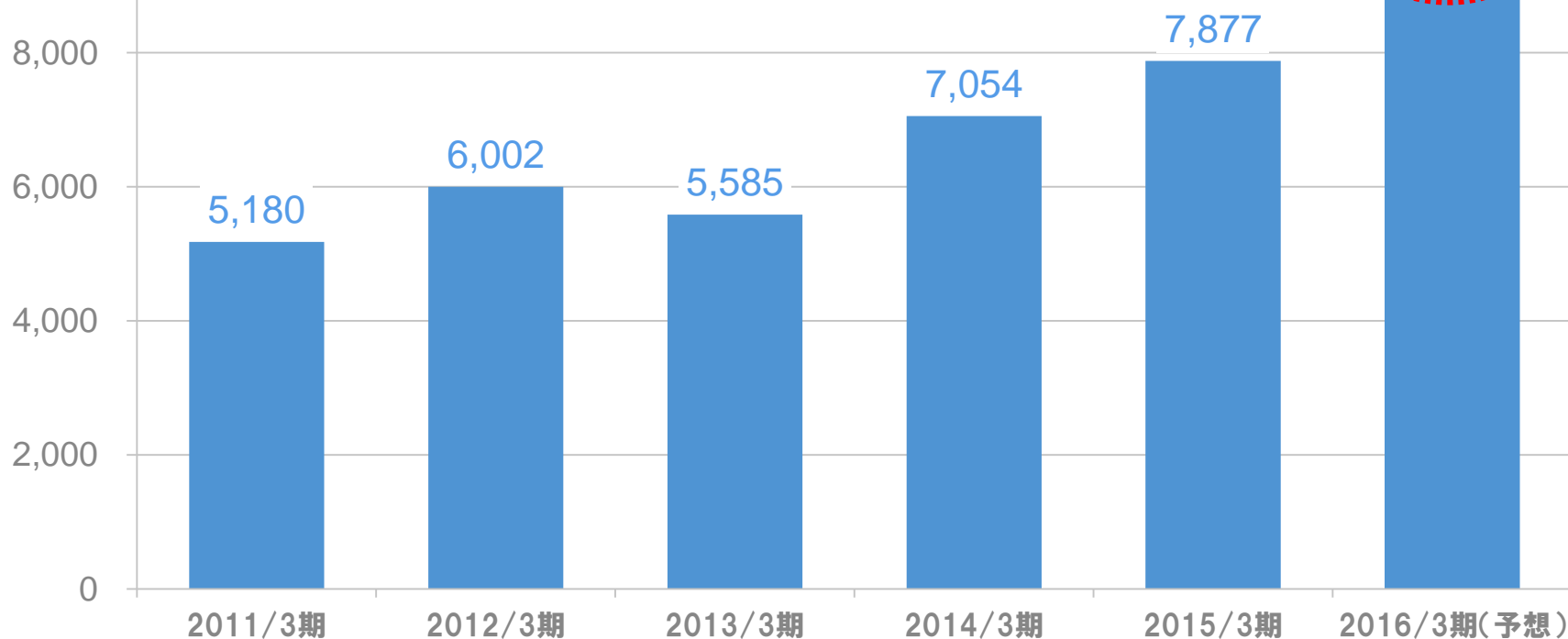
#### ◎メガネフレーム

- ・(株)村井では、付加価値商品の投入による粗利の取れる商品に注力するものの、減収による売上総利益の低下が見込まれ、また、本体のOEM製品部門は、円安によるベトナム工場の人件費増が大きく影響。

# 業績推移

(百万円)

連結売上高の推移 過去最高を更新の見込み



	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期(予想)
売上高	5,180	6,002	5,585	7,054	7,877	8,800
営業利益	207	334	103	134	189	301
経常利益	156	295	105	123	161	253
当期純利益	172	296	90	114	120	223

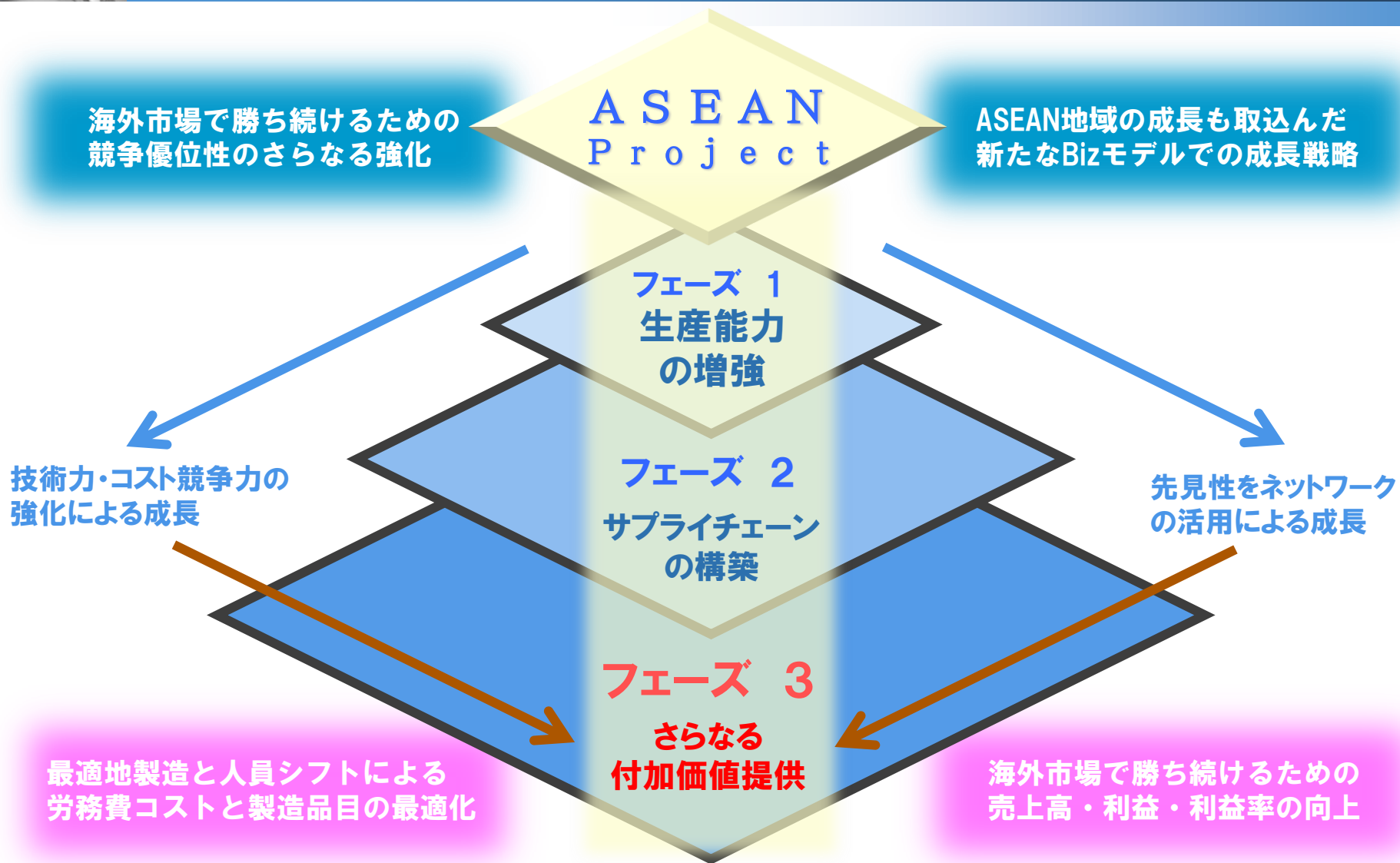


1. 2016年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

# ASEANプロジェクトの概要



# 『ASEAN Project』の概要

## フェーズ 1

生産能力  
の増強

### 2013年～2014年

- ◎ カンボジア工場の新設、労働集約型製品の生産移管
- ◎ ベトナム工場の強化：自動化・半自動化の推進
- ◎ ベトナム工場は高付加価値製品の提供へとシフト

## フェーズ 2

サプライチェーン構築  
と  
技術力の強化

### 2014年～2015年中盤

- ◎ ベトナム工場の表面処理能力の増強
- ◎ ベトナム工場の移転拡張による高付加価値製品の増産
- ◎ カンボジア工場の敷地内へ、中国内の当社協力工場を誘致

## フェーズ 3

さらなる  
付加価値提供

### 2016年中盤～

- ◎ カンボジア工場の敷地内における本格的な生産拡大
- ◎ 次の成長に向けた新たな製品領域への挑戦

# フェーズ 1 生産能力の増強 カンボジア新工場の設立

# NISSEY

NISSEY Cambodia Co., Ltd



- 名称 NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.  
操業 2014年 年初から  
所在地 Dragon King SEZ, Prey Angkunnh Commune,  
Bavet City, SvayRieng province, Cambodia  
ドラゴンキング SEZ、カンボジア国スバイリエン州  
バーベット市プレイアングン地区  
代表者 岡林 博  
資本金 5千万円  
出資者 日本精密株式会社(100%)  
決算期 12月31日  
事業内容 時計外装部品等の製造、販売





## フェーズ 1 生産能力の増強

# 労働集約型製品をカンボジア工場へ生産移管

労働集約型製品はカンボジア工場へ移管し、ベトナム工場は高付加価値製品へシフトします。

# NISSEY

NISSEY Cambodia Co., Ltd

当期9月より単月黒字化！



労働集約型製品はベトナム → カンボジアへ

カンボジア工場の生産能力の強化に向け  
設備投資を実施

ベトナム工場からの労働集約型製品の全面移管  
を前倒しするため、以下の投資を実施

✓ 真空焼入炉    ✓ プレス機    など

当初は、当期の下期に予定していた  
移管時期を上期に前倒し

当初から予定していた『絞りベゼル』に加え、  
『鍛造ベゼル』の製造も移管

全面移管を早めることにより、ベトナム工場  
の高付加価値製品へのシフトを早期化

## フェーズ 1 生産能力の増強

# ベトナム工場の強化、高付加価値製品へのシフト

今後もASEANプロジェクトの核となるベトナム工場の強化に向けて、以下の施策を実施。

### ① 自動化・半自動化

- ・今後の生産能力の拡大、生産効率の向上、利益率アップに向けて自動化を推進。

→ 既に設備投資を開始

### ② 金型製作の強化

- ・金型製作の技術・生産効率をさらにアップ
- ・カンボジア工場用も一括製作し、経営効率アップ

→ 今後の製造品目・数量の増加へ対応すると同時に、原価率を低減

### ③ 高級腕時計バンドの製造

- ・高級腕時計バンドなど高付加価値製品を製造
- ・表面処理技術の強化

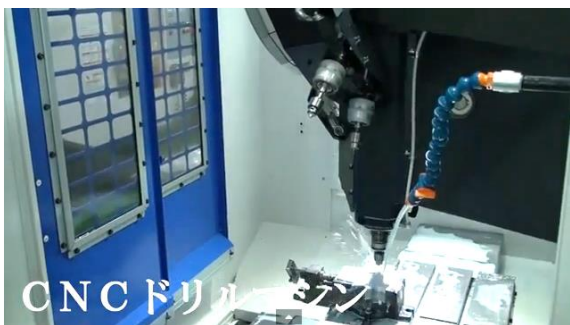
→ 顧客ニーズに応えた高付加価値製品の製造

### ④ 新規製品の製造

- ・新たな製品領域で高付加価値製品を製造

→ 顧客のニーズに応え、新たな製品分野にも進出

例)半自動化設備



## フェーズ 2 サプライチェーンの構築と、技術力の強化 ベトナム工場の表面処理能力の増強

最新の表面処理技術DLC(ダイヤモンドライクカーボン)の設備を導入し、より高付加価値化。



### 商品訴求力

新規改良設備の導入により、耐磨耗性の向上による商品の訴求力が得られます。

### 高付加価値

高級無垢バンド等の更なる高付加価値化と一貫生産による大幅な工期短縮になります。

### オリジナル設計

当社オリジナルの設計で設備を製造しており、今後の新色等の要請にも対応可能です。



当社ベトナム工場に設置したDLC表面処理設備

基幹工場であるベトナム工場に最新の表面処理技術DLC設備を導入し、高付加価値製品の製造とそれによる収益性の向上を図る

# 市場環境の変化

ここまでは当社の想定通りに推移

中国内の部品製造は、人件費高・元高などの要因で原価が上昇。価格上昇→競争力低下→廃業→供給力低下→価格上昇・・・という負の連鎖が起こっている。

また、中国では高齢化等による熟練工の不足が深刻化。時計関連・眼鏡関連の部品工場が、相次いで倒産・廃業する状態も、それに拍車をかけている。

日系メーカーだけでなく欧米メーカーについても今後の供給リスク・価格アップリスクを予想して新たな部品調達先を検討・模索している状況。

増産したくとも  
調達先が見つからない

国内腕時計メーカーの  
高級品が大幅売上増

訪日外国人客の大幅増  
(過去最高を更新)

スイス高級時計の割高感  
(円安・スイスフラン高)

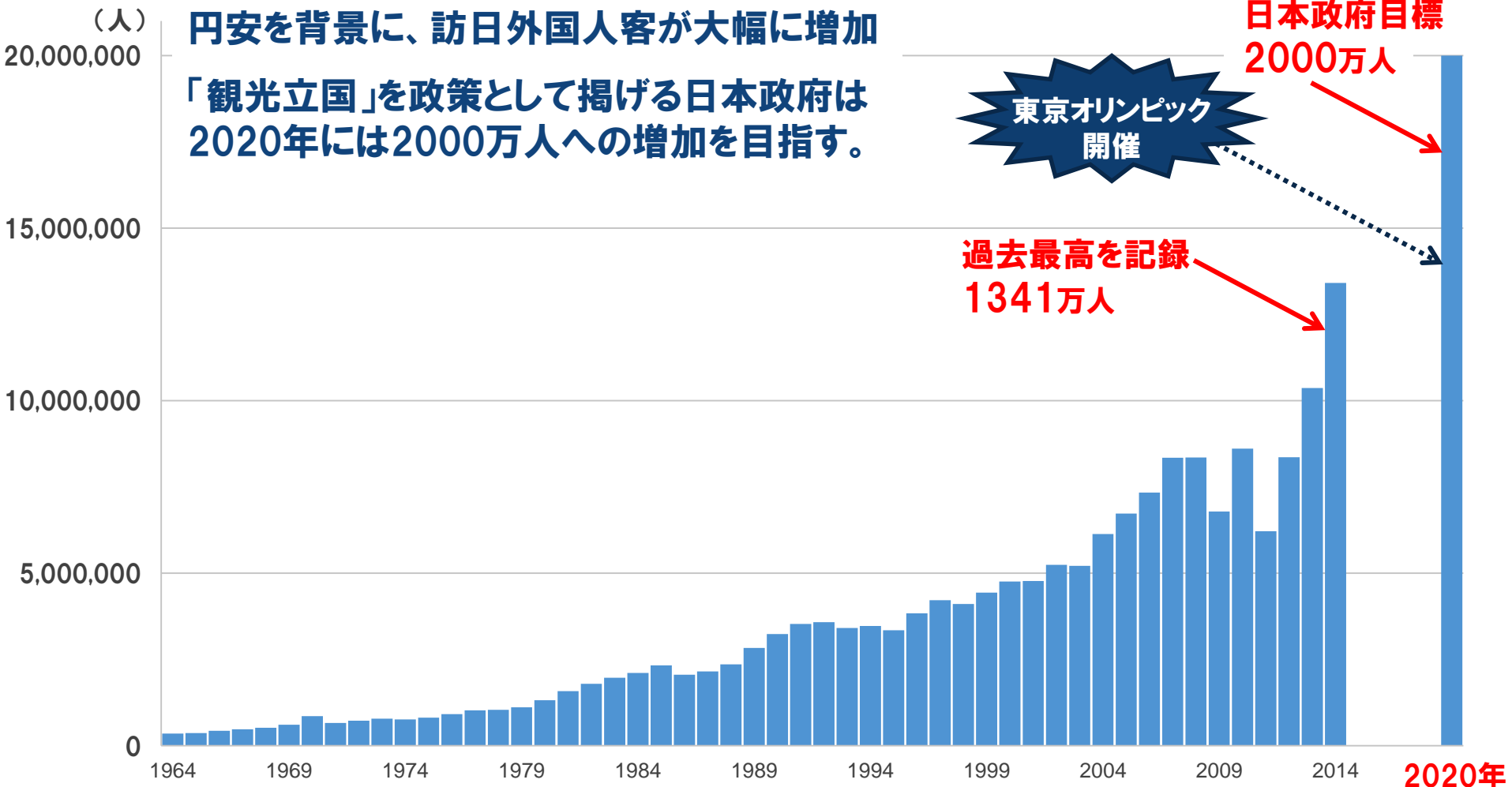
上記の流れが加速し、予想以上スピードで環境が変化

中国のみに部品調達先を求めるリスクが顕在化。  
各メーカーは調達先の模索の段階から、実際に当社に発注先を変更する段階へ。

更なる変化

前期に増資を実施し、調達資金での設備投資で対応

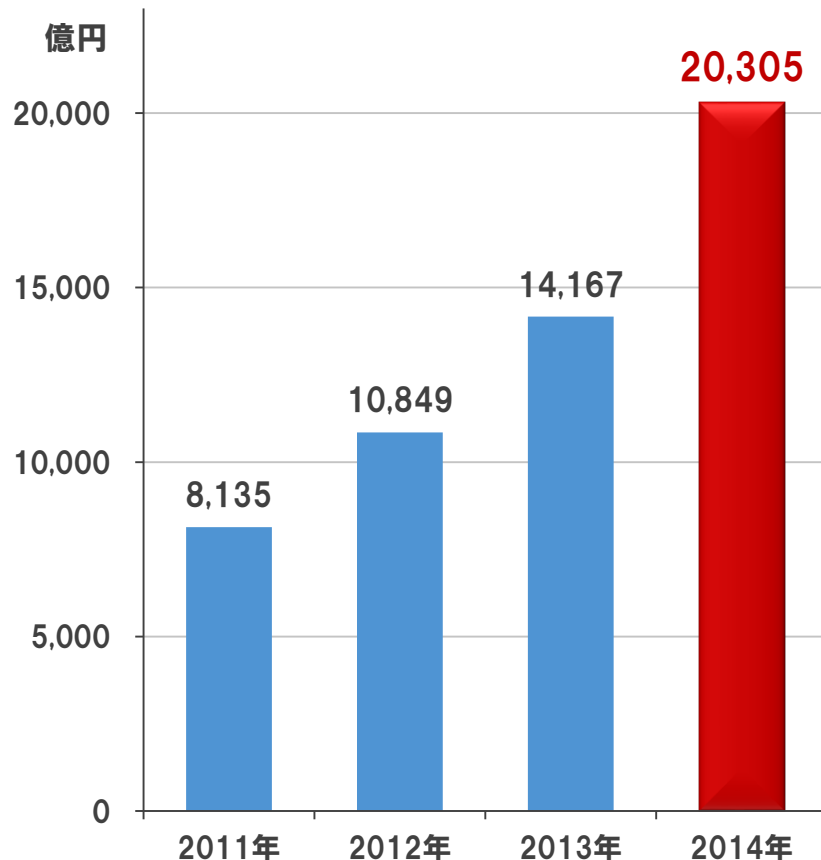
# 市場環境の変化① 訪日外交人客の増加



出所: 日本政府観光局 (JNTO)

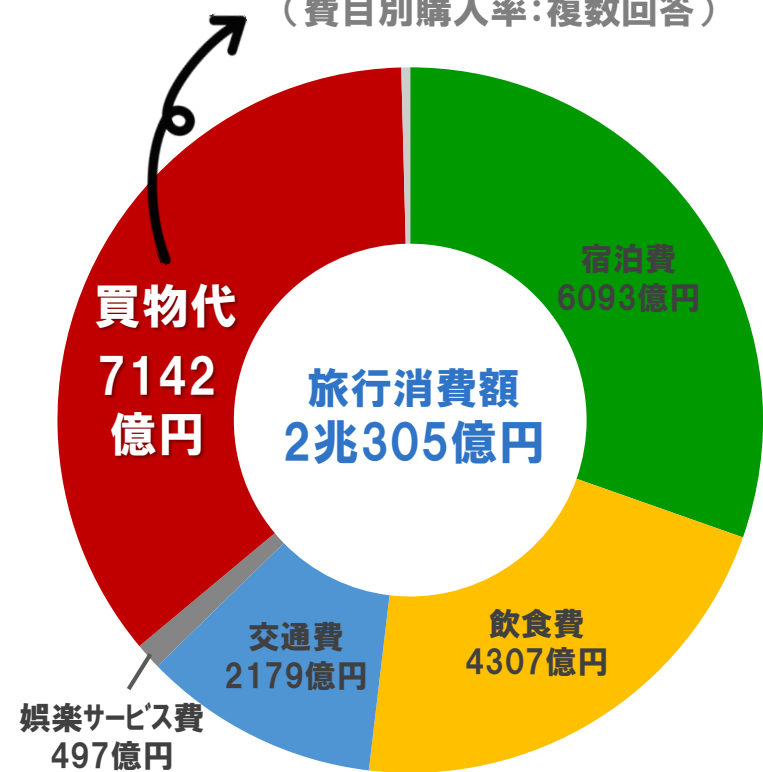
# 市場環境の変化② インバウンド需要の急拡大

## 訪日外国旅行者の旅行消費額



## 費目別の旅行消費額

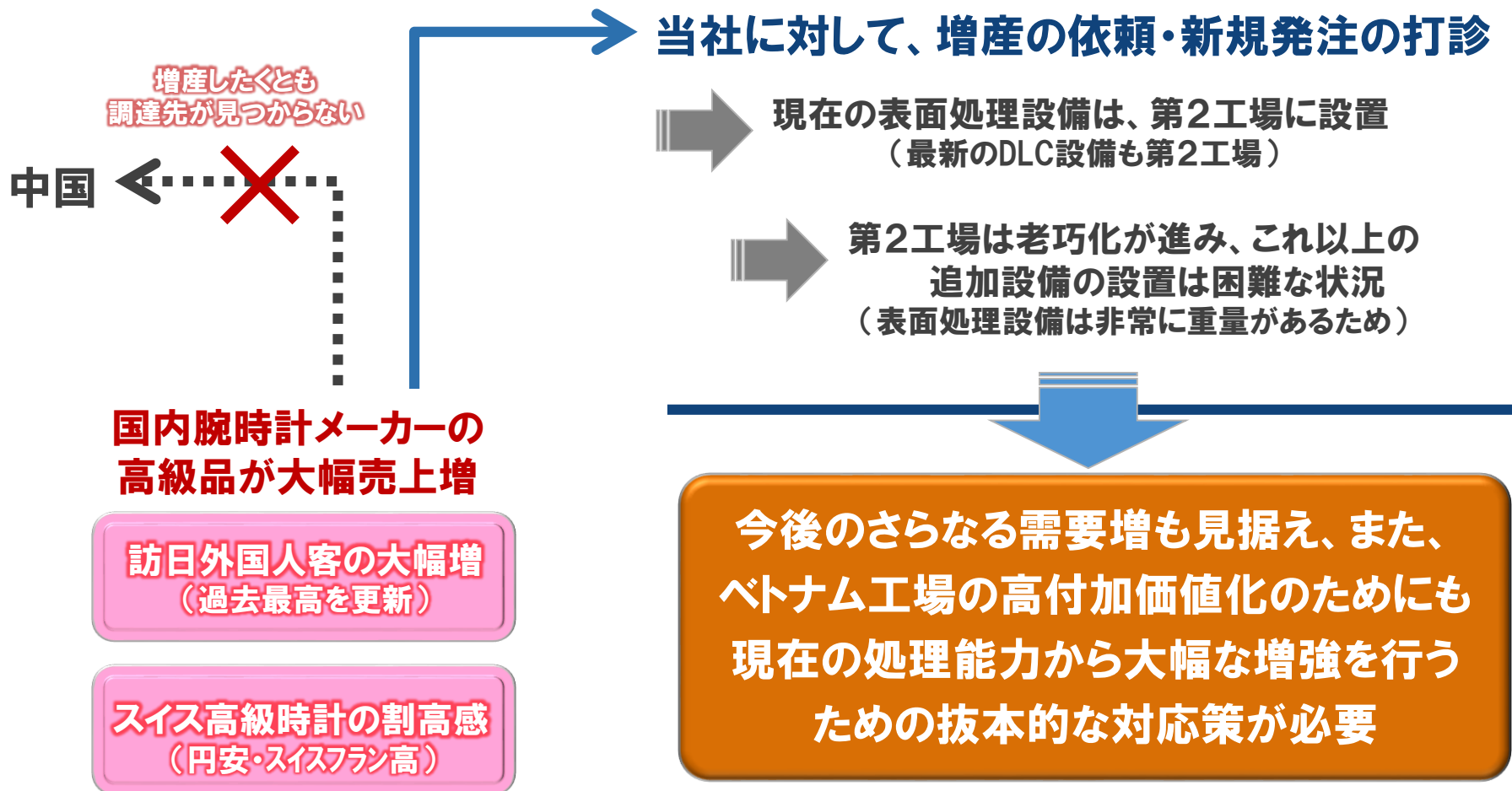
カメラ・ビデオカメラ・時計の購入率: 9.4%  
(費目別購入率: 複数回答)



出所: 観光庁「訪日外国人の消費動向 平成26年 年次報告書」

# 需要の急拡大への対応策

現在の需要に加え、今後のさらなる需要増も見据えた表面処理の抜本的な対応策を検討。



# 第三者割当増資の実施～新工場の建設へ

## 新株式 の発行

発行新株式数	7,300,000株
発行価額	1株につき274円
発行価額の総額	200,020,000円
割当先	佐藤真吾氏 730,000株



**ベトナム第4工場  
の建設**

表面処理の専用工場  
として新たに建設する

第4工場の

資金として充当



※建設資金には、左記の第三者割当による調達資金の他、間接金融で調達する資金も充当する予定です

## 新株予約権 の発行

新株予約権	730個 (新株予約権1個につき1,000株)
発行価額の総額	2,993千円 (新株予約権1個につき4,100円)
調達資金の総額	203,013,000円 内訳 ・予約権の発行による調達額: 2,993千円 ・予約権の行使による調達額: 200,020千円
行使価格 行使期間	1株当たり274円 2015年8月7日～2016年8月6日
割当先	佐々治雄氏 730個

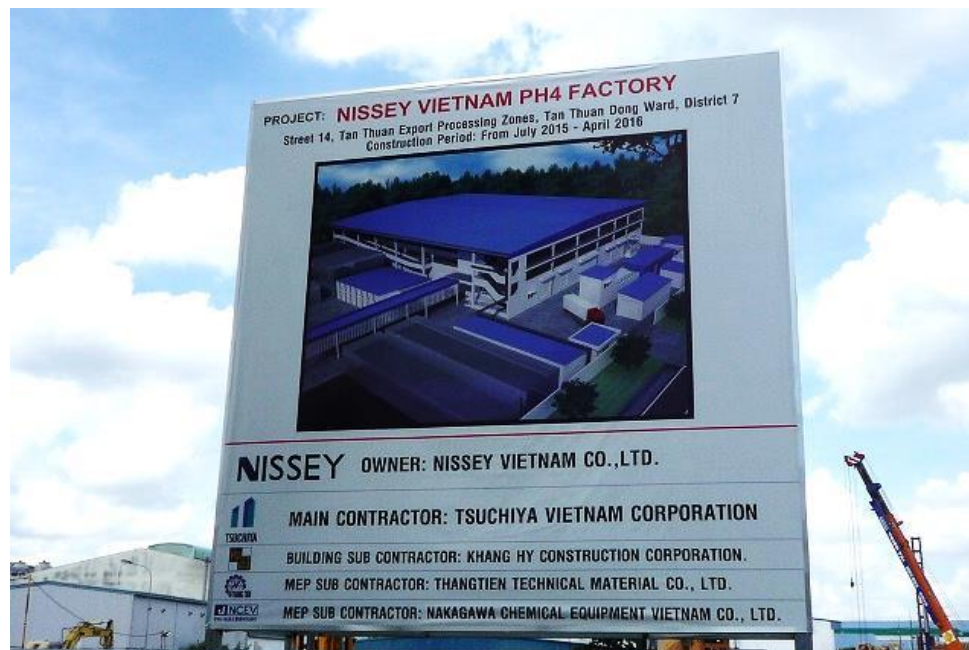


# 9月より新工場の建設を開始しております

## 来期からの本格稼働に向けて すでに建設を開始しております

### 第4工場建設に関する日程

- (1)着工 :平成27年9月中旬
- (2)竣工(予定):平成28年4月末
- (3)操業(予定):平成28年5月中旬より



起工式の様子



現在、順調に工事は進行しております

# 今後の表面処理能力の向上に向けて(予定)

第4工場には、現在の表面処理設備を移管するほか、追加設備の設置、設備の集約による効率化を図ることにより、能力の大幅増強と収益拡大を目指してまいります。

## 第4工場

2015年9月  
着工

2016年5月  
操業(予定)

効率化  
追加設備の設置

顧客からの  
大量受注に応える  
表面処理能力の  
大幅な増強

表面処理設備  
を設置

## 第2工場

現在、表面処理設備を設置

設備移管後に地盤検査等を再度行い  
今後の利用方法等について検討

## フェーズ 2 サプライチェーンの構築

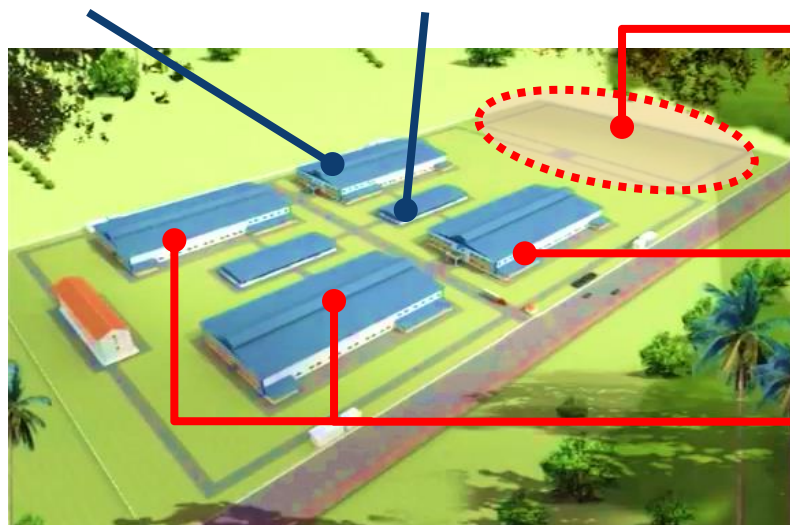
# サプライチェーン構想の実現に向けた準備も着々と進行中

敷地内に中国の協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築。収益の大幅増を図ります。

カンボジア新工場の129,600㎡に及ぶ広大な当社敷地内に、製造メーカーの苦境が続く中国内の当社協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築する。

- ①時計製造に必要なあらゆる部品メーカーを敷地内に誘致
- ②当社工場を中心とした時計関連部品の一大サプライチェーンを構築
- ③カンボジア工場が、顧客の需要を取りまとめ一括受注
- ④検品業務等も含め顧客に一括して販売

当社カンボジア工場 共用食堂棟



**追加誘致を検討**

中国市場の変化が急速に進んでいるため、誘致工場を当初予定より増加させることを検討

**誘致工場**(工場建設済み)

2015年7月から操業を開始

**誘致工場**(内定済み)

1社は、来年初めに工場建設を開始予定

# メガネフレーム部門の改善に向けて

## 商品面 企画開発力 × ブランド力

村井

某世界的  
メガネブランド

世界約80か国で展開  
有名ブランドを多数保有

合併会社を設立

両社で合併会社を設立し、ライセンス  
ブランドによる日本向け製品を開発。

村井の企画開発力により、単に  
ブランド化だけの商品ではなく、  
日本人にフィットした商品へ

改善

独自に事業を展開していた  
両社が今後は協力体制を強化。  
ファッション性に富む村井の企画力と  
金属加工・コンポジット技術を有する  
当社の協力体制を組織面でも構築。

共同企画製品の開発

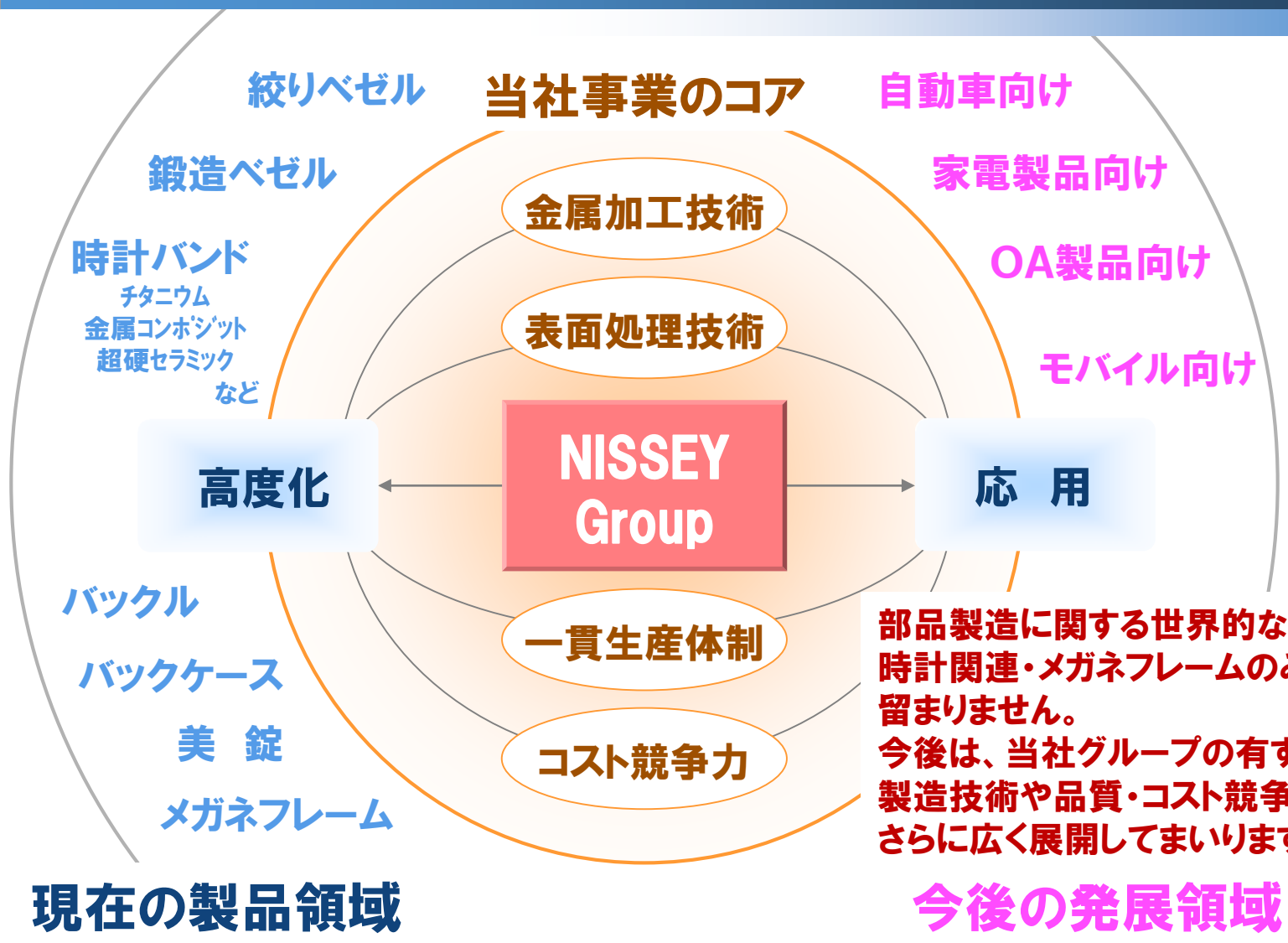
金属加工・表面処理技術  
金属×樹脂のコンポジット技術

当社本体  
メガネフレーム

村井

## 技術力 × 企画開発力 組織面

# さらに、その先の成長へ向けての準備



部品製造に関する世界的な問題は、時計関連・メガネフレームのみに留まりません。今後は、当社グループの有する製造技術や品質・コスト競争力を、さらに広く展開してまいります。

# ASEANプロジェクトの推進による成長戦略を推進

## ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



### 本社(埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など、全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井:連結子会社

エヌエスジー(株):連結子会社

### 香港支店

ベトナムでの製造不可能な部品を低コストで中国より調達。また営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

### NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造
- ◎メガネフレームの製造
- ◎釣り具部品等の製造 他

### 高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

### NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造

### 普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、  
一大サプライチェーンを構築

# 中期経営目標

## 連結

単位:百万円	2015/3	2016/3 今期見込
売上高	7,877	8,800
■ 時計関連	5,437	5,996
■ メガネフレーム	2,062	2,387
■ その他	376	415
営業利益	95	301
経常利益	221	253
当期純利益	187	223

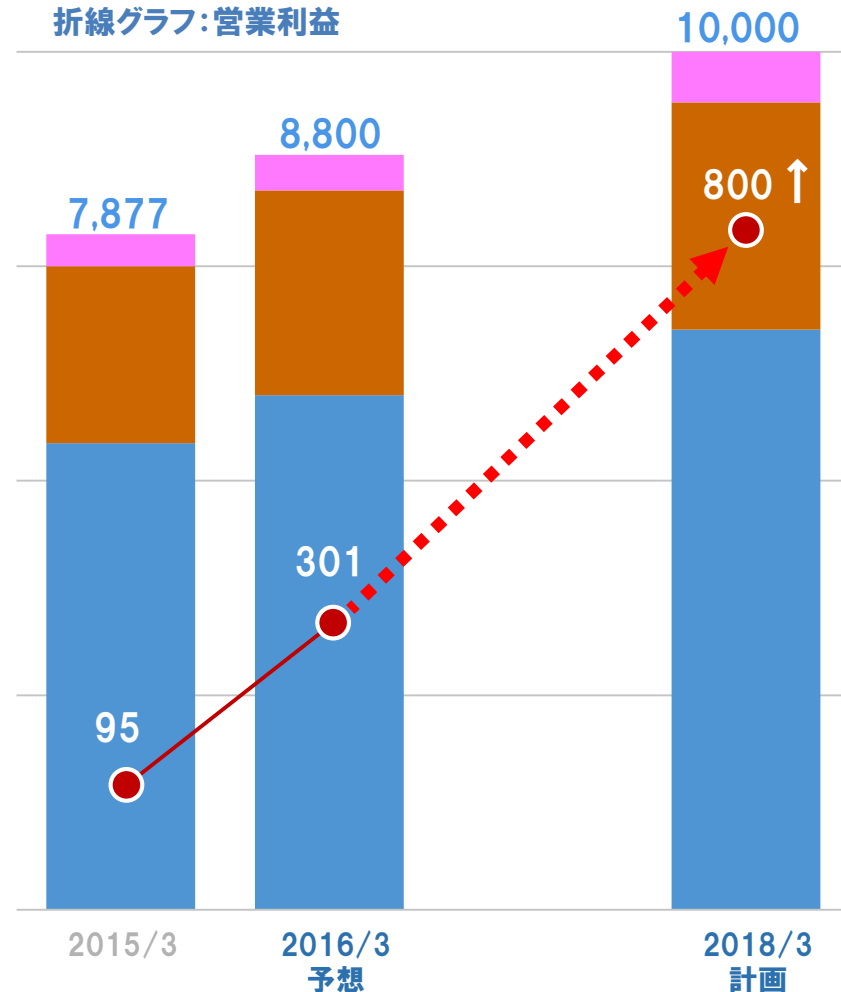
EPS	11.71円	12.80円
営業利益率(%)	1.2%	3.4%



2018/3 計画	10,000
	6,760
	2,650
	590
	800 + α
	700 + α
	600 + α

	34円 以上
	8%以上

棒グラフ : 売上高  
折線グラフ: 営業利益



CODE : 7771



## 日本精密株式会社



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

本資料は、2016年3月期第2四半期の業績概要および2016年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2015年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。